

2.4. データベースシステム学講座

2.4.1. 講座の概要

(a) 講座の簡単な説明, キーワード

データベースは、非常に広い市場に適用されているだけでなく、多様なアプリケーションに利用されています。本講座では、データベース技術を用いて地域の課題や要望に応えていくことを中心に、その適用可能性の拡大についても研究を推進しています。地域貢献としては、障害者支援システム、避難所 SNS、タクシーの待ち/流しの効率化システム、地磁気/加速度センサを利用した工員の作業トレースシステム、地磁気・加速度センサを利用したスキージャンプのモニタリングシステムの研究開発に取り組んでいます。

データベース基盤技術の確立という観点から、におい検索技術、E-コマースのためのレコメンデーション方式、可視化の出自情報を含むデータベース化、地図の経済的更新技術、カメラを利用した行動追跡技術、コグニティブ無線システムにおける端末位置推定技術の研究を進めています。

また、応用システム研究として、電子政府、国際ナショナルドライビングシミュレータ、コーディネーション相談システム、医療過誤防止システム、などを開発しています。

キーワード： データベース工学, 電子政府, Web コラボレーション, におい検索, レコメンデーション, GIS (地理情報システム), ITS (高度道路交通システム), E-コマース, 可視化, 出自情報, P2P, 不審者監視システム, コンテキストウェア, Felica, モーションモニタリング, ドライビングシミュレータ, 人体通信, ジャイロセンサ, 地磁気センサ, 加速度センサ, コーディネーション, スキージャンプ

(b) 年度目標

- 4年生以上が全員年一回以上の外部発表を行う。
- 講座全体で競争的資金を2件以上獲得する。

(c) 講座構成教員名

村田嘉利, 高山毅, 佐藤永欣

(d) 研究テーマ

- 電子政府システムの操作性向上
- 避難所 SNS を利用した情報共有および通信
- 障害者に優しい自動車操縦インタフェース
- 障害者に優しい家電リモコン
- 人体通信タグを利用した医療過誤防止システム
- コーディネーション相談システム
- コグニティブ無線システムにおける端末位置推定技術
- 国際ナショナルドライビングシミュレータ
- タクシーの待ち/流しの効率化
- E-コマースのためのレコメンデーション方式
- 可視化の出自情報のデータベース化
- FeliCa と携帯電話をもちいた観光案内システム
- GPS による多数の軌跡を集合知として使うカーナビゲーション用地図生成システム
- 地磁気・加速度センサによるスキージャンプ選手のモニタシステム

- 地磁気・加速度センサを用いた作業トレーシングシステム
- P2P ネットワーク防犯カメラシステム

(e) 在籍学生数

博士(前期) : 4名, 博士(後期) : 1名, 卒研生 : 9名, 研究生 : 0名